



# 学校だより

6月号



令和4年5月31日  
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ  
QRコード

## 授業改善

校長 榊原 一紀

5月28日の南小オリンピックでは、6年生のソーラン節、一生懸命に走る徒競走、児童が応援合戦だけでなく様々な競技場面で応援している姿や、一人ひとりが力いっぱい競技に参加している様子にすばらしさを感じました。真剣に取り組む力を、今後の学習や行事など様々な場面で生かしてほしいと感じています。

24日は授業参観・学校説明会が行われます。学校説明会では、今年度の学校の取組をお知らせするとともに、今年度から令和6年までの3年間の方針である中期学校経営方針の説明を行います。ぜひ、学校がどのようなことを大切に、取り組んでいきたいと考えているのかを聞いていただければと思っています。取組の一つに「授業改善」があります。ポイントとして次の6点を大切にしていきます。

- ① 資質・能力を明確にした授業づくりをおこなう。
- ② 授業のゴールを明確にして、分かる授業を進める。
- ③ めあてと振り返りを大切に、主体的な学習を進める
- ④ 成功体験を感じる評価場면을意図的に作るようにする。
- ⑤ 表現力を育てるために、発表の場や語彙力を増やす。
- ⑥ 重点研究を通して、主体性や表現力の育成を図る。

昨年度末に教職員で話し合った能見台南小学校の子どもたちに身につけてほしい力が「主体性」と「表現力」でした。この力を育てるための取組がこの6つです。①から⑤は日々の授業の中で意識していくことです。そして⑥の内容については、校内で行う重点研究という研究会で育てていきます。具体的には、教師が研究授業を行い、授業終了後にその授業について参観した教師と一緒に改善点を話し合ったり、外部から招いた講師に指導方法を学んだりします。今年度は国語科に焦点を当て、テーマを「主体的で対話的に学ぶ子どもの育成」として取り組みます。

情報があふれている現代社会では、知りたいことはネットで調べればすぐに知ることができません。現代の変化の大きい時代には、課題を見出し、最後まで粘り強く解決するためには、主体性や対話が大切です。そのような力を育てるために重点研究を通して皆で授業改善について考えていきます。